

平成23年度 鳥越出張所 完成工事 第2弾

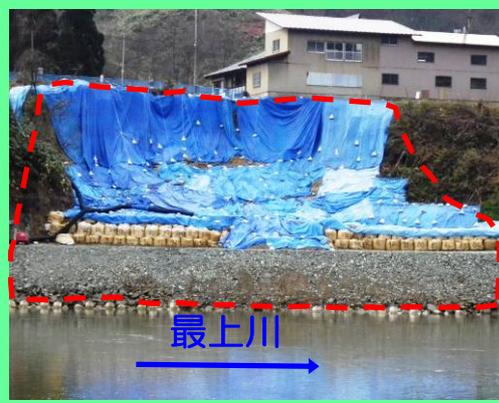
☆工事へのご理解とご協力ありがとうございました☆

実栗屋地区緊急復旧工事

完成しました!

丸充建設(株)

施工前



施工後



概要

本箇所は、平成23年6月の梅雨前線に伴う降雨による斜面の緩みや最上川の水位の急激な変動によって河岸が削られ、長さ50mに渡る大規模な河岸崩壊が起きました。治水上の支障があり、崩壊上端が主要地方道大石田・畑線や民家に近接していることから緊急復旧工事を行いました。再崩落を防ぐため、斜面の末端に根固めブロックと根固め石を配置して法崩れを抑制。上部には種子吹きつけ及び現場で発生した間伐材を打ち込んで法面の保護を行いました。植生が根付けば、盛土も安定し、大雨が降っても法崩れは起こらなくなるものと考えています。

ボート巡視

6月7日 (木)



▲ 水質自動監視装置に流木の流着を確認



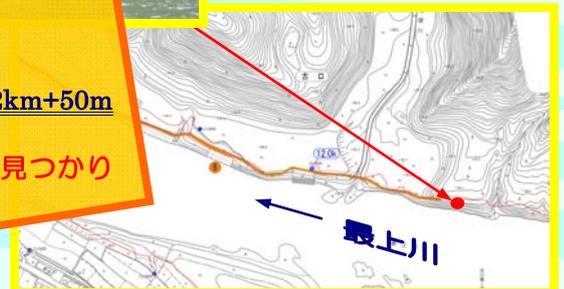
▲ とりごえ号



最上川
古口地区 右岸 12.2km+50m

河岸に崩落箇所が見つかりました。

ボート巡視は年2回実施しており、今回は出水期前に陸上から見る事ができない箇所を点検しました。



水防技術講習会



▲ 月の輪工



▲ 積み土のう工



▲ シート張り工



完成しました！！

7月1日(日)、真室川河川敷において、防災エキスパートである水防工法指導者を講師として、尾花沢市・大石田町・金山町・真室川町水防団、維持工事を担当している建設業者、新庄河川事務所職員ら79名が参加して水防技術講習会を行いました。

安全利用点検

夏季に多くの方が集まり、利用頻度が高いと予想される水辺の施設6箇所を自治体、警察、消防、観光会社などと合同で点検しました。

改善前



船着場に至る遊歩道に土砂の堆積や草木で周囲の視野が確保されておらず危険！！

改善後

こんなにきれいになりました



土砂を除去し草木の伐採を実施しました。



点検箇所：
最上川左岸 22.1k 付近
新庄市本合海船着場～

職場体験学習

最上川中流四島出舟地区特殊堤工事現場

8月2日(木)
大石田中学生2名
が工事見学と測量体験を行いました。



河川愛護月間

期 間
平成24年7月1日(日)～
7月31日(火)

水生生物調査 7月10日(火)

流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進して、河川愛護の意識を持ってもらうことを目的に国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定めています。



舟形町立富長小学校4年生の皆さんに最上小国川に棲息している生物の調査をしてもらいました。棲息している生物を調査した結果、最上小国川はきれいな川だと分かりました。

水閘門操作員表彰式

7月24日(火)



- ◀ 前列左から2番目 真柄第二排水樋管操作員 齊藤 吉浩さん
- 前列左から3番目 真柄排水樋管操作員 安食 八郎さん
- 欠席 堀内第三排水樋管操作員 坂上 和好さん

15年以上、排水樋管の操作業務に継続的に従事していただいた方を表彰

優良工事施工会社表彰式

「舟形町実栗屋地区において、緊急復旧工事を実施」



- ◀ 前列右から2番目 最上川中流実栗屋地区緊急復旧工事 丸充建設(株) 現場代理人 星川 崇さん

工事成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があったもの、困難な条件を克服したもの等を選定し、当該工事の施工会社を表彰

インターンシップ



7月4日(水)、新庄神室産業高等学校生3名がインターンシップ(就業体験学習)で堤防除草と測量を行いました!!

過去の水害状況 昭和44年8月8日の洪水の記録 戸沢村古口地内



とがしてつお 富樫哲雄さんには、5月に行われました「最上川200キロを歩く」において、「舟運時代と洪水」という題で講話をいただきました。

富樫さんは過去の水害の貴重な資料を多く所有していることから、今回広報誌のために写真を提供していただきました。



写真提供：富樫 哲雄氏

貴重な資料とお話 ありがとうございます

新庄河川事務所 鳥越出張所

〒996-0002 新庄市金沢字中村 1495-13
 (TEL)0233-22-6038
 (FAX)0233-22-0083
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

※ご感想や、河川に関するご意見や情報等ありましたらお気軽にお寄せ下さい(^^)
 担当 遠藤・金田

